

株主のみなさまへ



第168期 報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

証券コード：4046

<https://www.osaka-soda.co.jp/>

Something **Better** with Chemicals

化学で笑顔を
育む会社

す ぞ り だ

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.osaka-soda.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(100株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。

お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらでご覧いただけます。
ホームページアドレス
<https://www.osaka-soda.co.jp/>



トップ
ページ



株式会社 大阪ソーダ

本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
TEL.06-6110-1560



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは、第168期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長執行役員

寺田 健志

グループ 企業理念

独創的な
技術と製品により
安心して豊かな社会の
実現に貢献します

業績ハイライト

売上高	1,042 億円	前年 同期比	18.3% ↑
営業利益	156 億円	前年 同期比	25.4% ↑
経常利益	172 億円	前年 同期比	27.8% ↑
親会社株主に帰属する 当期純利益	106 億円	前年 同期比	12.0% ↑
年間配当	90 円	前年 同期比	+10 円 ↑

第168期の業績概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により社会経済活動の正常化が進み、持ち直しの動きが続きましたが、供給面での制約や原燃料価格の高騰に加え、ウクライナ情勢の長期化や中国での感染拡大による経済活動の停滞、急激な為替変動、世界的なインフレの進行等の影響もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、第7次中期経営計画「EMPOWER THE NEXT-22」の最終年度を迎え、「レジリエントな事業基盤の構築」、「マーケットイン型開発の推進」、「SDGs への取り組み」および「企業文化・組織風土の改革」の4つの基本方針に基づき、全社一丸となって具体的な施策に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、1,042億8百万円と前期比18.3%の増加となりました。利益面におきましては、営業利益は155億5千7百万円と前期比25.4%の増加、経常利益は171億6千4百万円と前期比27.8%の増加、親会社株主に帰属する当期純利益は105億7千万円と前期比12.0%の増加となり、当連結会計年度の各段階利益は過去最高を更新いたしました。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり45円とし、年間では90円とさせていただきます。

今後の対処すべき課題

今後の経済見通しにつきましては、景気の持ち直しが継続するものと期待されますが、原燃料価格のさらなる高騰や物価の上昇のみならず、世界的な金融引き締めにもなう景気の下振れリスク等が懸念され、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、業務改革活動のさらなる浸透を図りながら、「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針からなる新中期経営計画の策定を終え、まさにスタートしようとしておりましたが、2023年4月4日、弊社水島工場で製造設備の不具合が発生したため、公表を延期しております。しかし、当社グループが取り組むべき基本方針は変更せず、当該設備の早期復旧に全力を挙げながら、その基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいります。

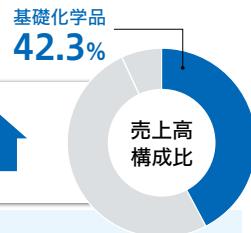
次期の業績予想につきましては、水島工場での製造設備不具合の影響を考慮した結果、売上高1,050億円、営業利益100億円、経常利益111億円、親会社株主に帰属する当期純利益75億円を見込んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部門別の状況(連結)

基礎化学品

売上高 **441億2千2百万円** 前期比**19.4%**増加 ↑



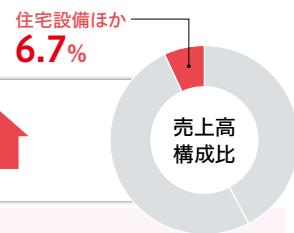
クロール・アルカリは、かせいソーダ・かせいカリを中心に原燃料価格上昇にともなう価格改定を実施したため、売上高は増加しました。エピクロルヒドリンは、期前半において海外市況が好調に推移したことに加え、原燃料価格上昇にともなう価格改定の効果や為替の影響もあり、売上高は増加しました。以上の結果、基礎化学品の売上高は441億2千2百万円と前期比19.4%の増加となりました。



※167期(2021年度)期首より収益認識に関する会計基準等を適用

住宅設備ほか

売上高 **69億7千7百万円** 前期比**32.6%**増加 ↑



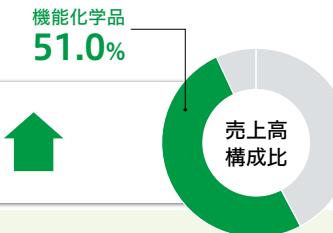
生活関連商品の販売が堅調に推移した結果、住宅設備ほかの売上高は69億7千7百万円と前期比32.6%の増加となりました。



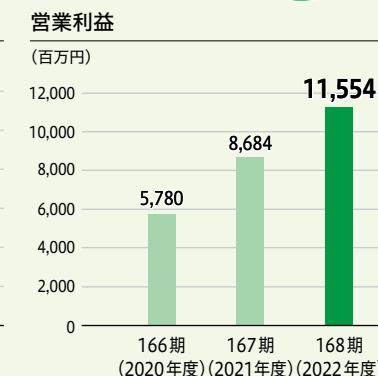
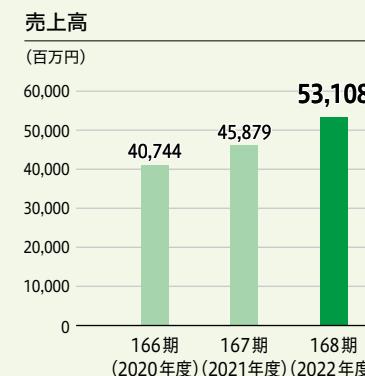
※167期(2021年度)期首より収益認識に関する会計基準等を適用

機能化学品

売上高 **531億8百万円** 前期比**15.8%**増加 ↑



合成ゴム関連では、エピクロルヒドリンゴムは、インドで環境規制対応向けの需要が増加したことにより、売上高は増加しました。アクリルゴムは国内外で新規採用が進み、またアジア向けを中心に販売が増加したため、売上高は増加しました。ダップ樹脂は、中国での絶縁ワニス用途を中心に販売は増加しましたが、期後半に入り物流混乱が収束した米国で在庫調整の影響を受けたことにより、売上高は減少しました。アリルエーテル類は、欧米および中国で塗料および電子材料用途を中心とするシランカップリング剤向けの拡販が進んだことに加え、為替の影響もあり、売上高は増加しました。医薬品精製材料は、欧米並びにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が拡大し、売上高は増加しました。



※167期(2021年度)期首より収益認識に関する会計基準等を適用

医薬品原薬・中間体は、糖尿病の合併症治療薬中間体、不眠症治療薬中間体、認知症治療薬原薬および中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。以上の結果、機能化学品の売上高は531億8百万円と前期比15.8%の増加となりました。

当社グループのセグメントと主要製品

●セグメント

基礎化学品

●主要製品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、塗料原料、接着剤原料など

機能化学品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、アクリルゴム、ダップ樹脂、ノンフタレート型アリル樹脂、高純度エポキシ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、医薬品精製材料、カラム・装置等分析機器、医薬品原薬・中間体、光学活性体、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、ガラスファイバー、資源リサイクルなど

住宅設備ほか

ダップ加工材、生活関連商品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント・環境保全設備建設など

連結財務諸表

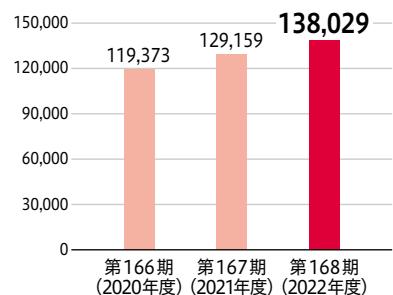
連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	前連結会計期末 (2022年3月31日)	当連結会計期末 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産	82,142	89,640
固定資産	47,016	48,389
有形固定資産	23,594	25,103
無形固定資産	550	639
投資その他の資産	22,871	22,645
資産合計	129,159	138,029
負債の部		
流動負債	39,850	32,310
固定負債	5,412	6,175
負債合計	45,263	38,485
純資産の部		
株主資本	76,859	91,812
その他の包括利益累計額	7,012	7,723
非支配株主持分	23	8
純資産合計	83,896	99,543
負債純資産合計	129,159	138,029

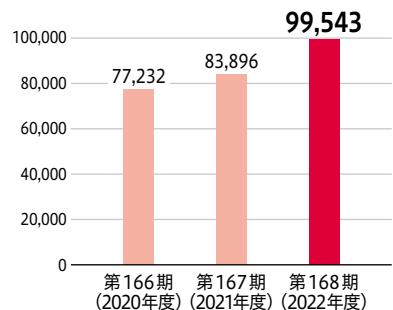
総資産

（単位：百万円）



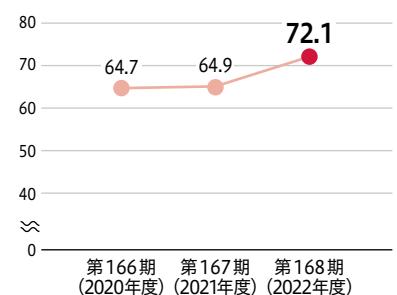
純資産

（単位：百万円）



自己資本比率

（単位：%）



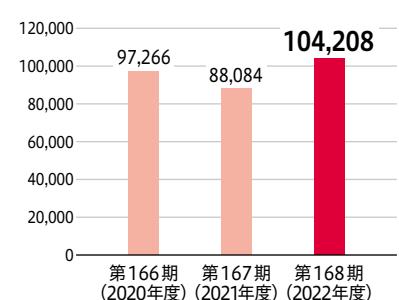
連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	前連結会計期間 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)	当連結会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)
売上高	88,084	104,208
売上原価	61,993	73,740
売上総利益	26,090	30,467
販売費及び一般管理費	13,688	14,910
営業利益	12,401	15,557
営業外収益	1,156	2,119
営業外費用	122	511
経常利益	13,435	17,164
特別利益	309	421
特別損失	333	1,568
税金等調整前当期純利益	13,412	16,018
法人税、住民税及び事業税	4,141	5,433
法人税等調整額	△ 171	33
当期純利益	9,441	10,552
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△ 0	△ 18
親会社株主に帰属する当期純利益	9,442	10,570

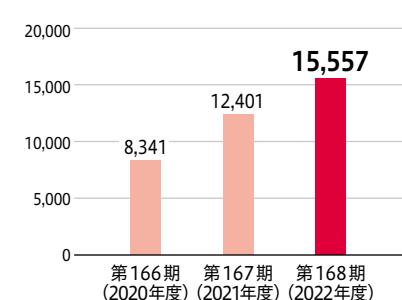
売上高

（単位：百万円）



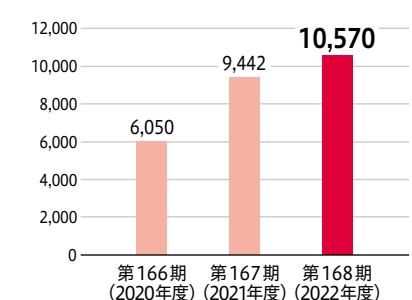
営業利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する 当期純利益

（単位：百万円）



※167期(2021年度)期首より収益認識に関する会計基準等を適用

連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科目	前連結会計期間 (自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日)	当連結会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,378	9,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,961	△ 5,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,646	△ 4,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	310	428
現金及び現金同等物の増減額	5,080	△ 194
現金及び現金同等物の期首残高	31,936	37,016
現金及び現金同等物の期末残高	37,016	36,843

TOPICS

第三医薬品原薬・中間体製造設備が完成

本年3月に、サンヨーファイン(株)の第三医薬品原薬・中間体製造設備が完成いたしました。近年、医薬業界では、安全保障上の観点から製造および原料調達における国内回帰が進んでおり、医薬品原薬・中間体の開発・製造受託事業の継続的な需要拡大が見込まれています。また、当該製造設備は医薬品の製造および品質管理基準である最新のGMP管理体制に対応しています。

当社グループは、国内外製薬企業からの受託案件獲得に取り組み、今後さらにヘルスケア事業の拡大を進めてまいります。



第三医薬品原薬・中間体製造設備(松山工場)

株式情報(2023年3月31日)

株式の状況

発行可能株式総数-----60,000,000株
発行済株式の総数-----26,732,017株
株主数-----5,276名

大株主一覧(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,342	13.13
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,748	6.87
株式会社三菱UFJ銀行	876	3.44
株式会社福岡銀行	822	3.23
株式会社伊予銀行	748	2.94
帝人株式会社	678	2.66
株式会社みずほ銀行	669	2.63
日本生命保険相互会社	637	2.50
損害保険ジャパン株式会社	615	2.41
ダイソー協栄会	615	2.41

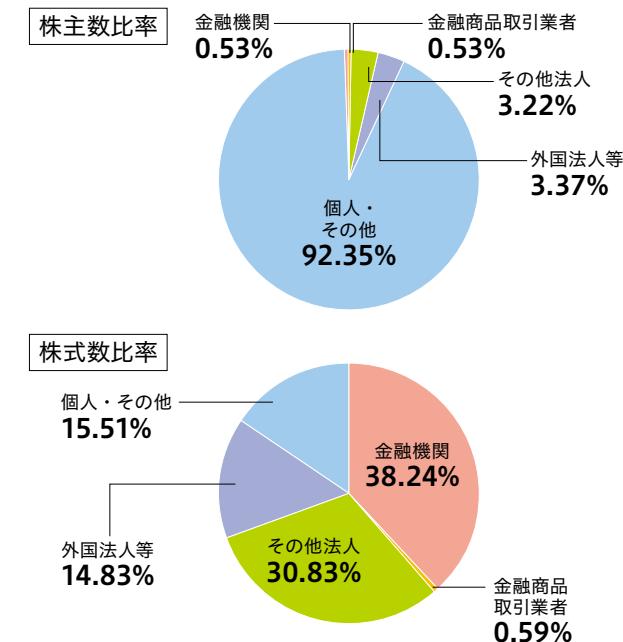
(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(1,291,509株)を控除して計算しております。

配当について

1. 期末配当金 1株当たり45円(年間90円)
2. 支払開始日 2023年6月12日(月)

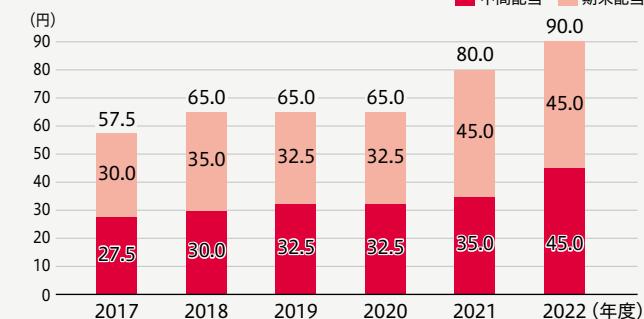
(注)2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、2017年度の期首に株式併合が行われたものと仮定して配当金を計算しております。

株主分布状況



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(4.83%)が含まれております。

1株当たりの配当実績



会社概要 (2023年3月31日)

社 名 株式会社大阪ソーダ
 OSAKA SODA CO., LTD.
 U R L <https://www.osaka-soda.co.jp/>
 創 立 1915年(大正4年)10月26日
 資 本 金 15,871百万円
 連結従業員数 1,017名

関係会社の状況

国内

会 社 名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品・生活関連商品等の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造・販売、メンテナンス
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
サンヨーファイン医理化テクノロジー(株)	カラム・装置等分析機器の製造
DSウェルフーズ(株)	健康食品素材の製造・加工販売
ダイソーインシュアランス(株)	損害保険・生命保険の取扱い
(株)INBプランニング	ゴムコンパウンドの製造・販売

海外

会 社 名	主要な事業内容
三耀精細化工品銷售(北京)有限公司	カラム・装置等分析機器の販売
DAISO Fine Chem USA, Inc.	医薬品精製材料の製造・販売
DAISO Fine Chem GmbH	医薬品精製材料・機能化学品等の販売
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入
DestinHaus Capital Fund 1 LP	投資事業
Elite Advanced Polymers, Inc.	ゴム製品の製造・販売

役員 (2023年6月29日付)

[取締役・監査役]

代表取締役 社長執行役員	寺 田 健 志
取 締 役 上席執行役員	小 西 淳 夫
取 締 役 上席執行役員	木 村 武 司
取 締 役(社外)	二 村 文 友
取 締 役(社外)	百 嶋 計
取 締 役(社外)	宮 田 興 子
常 勤 監 査 役	瀬 川 恭 史
常 勤 監 査 役(社外)	藤 藪 重 紹
監 査 役(社外)	森 真 二

[執行役員]

上 席 執 行 役 員	平 井 直
執 行 役 員	勝 間 賢 一
執 行 役 員	今 村 徹

大阪ソーダグループのネットワーク (2023年3月31日)

●国内拠点・研究センター
 ●生産拠点

国内



海外

